

プッシュ型の伴走型支援サービス化の 取り組み事例・社会実装のステップ

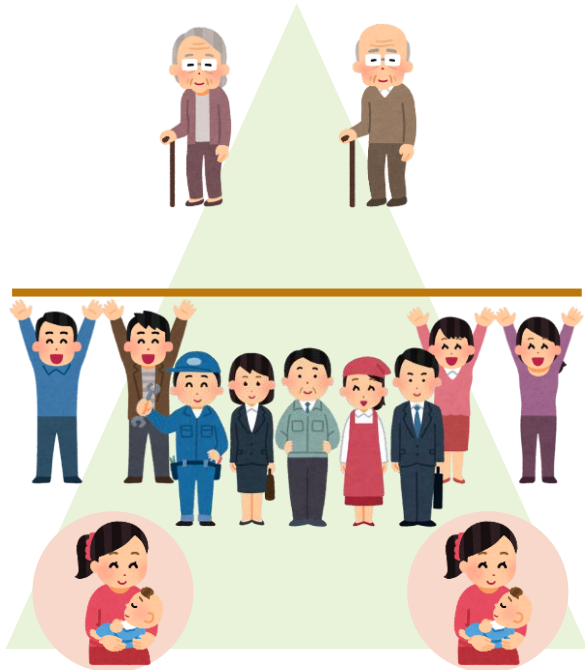
2023年3月29日 ver.1.0

内閣官房こども家庭庁設立準備室 政策参与

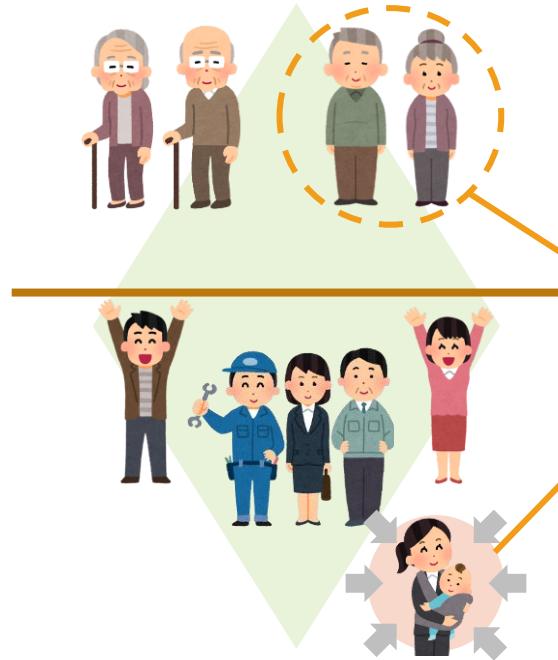
畑中洋亮

こどもまんなか社会を目指した構造改革イメージ

従来型社会保障の理念

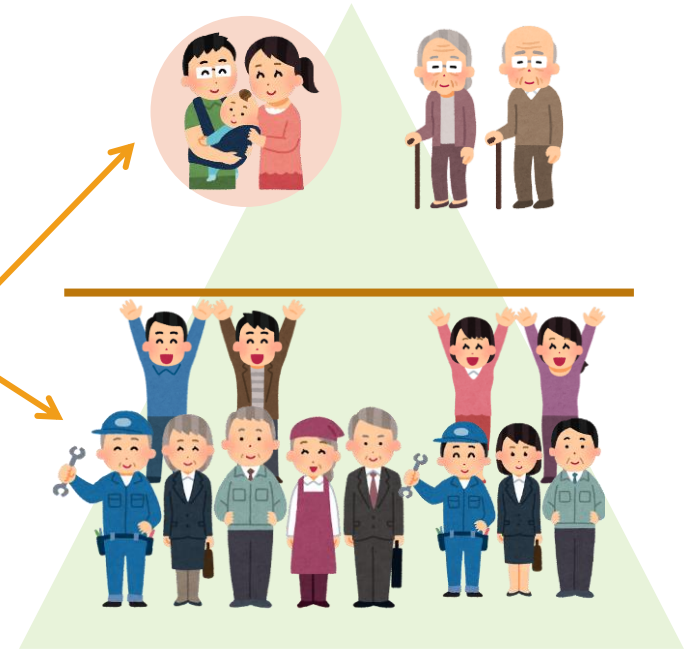


社会保障構造の現状



- 労働人口減少、高齢者人口増加による
 - 税収・社会保障担い手の減少
 - 年金支給額の減少
- **育児負担増による、少子化の進行**など

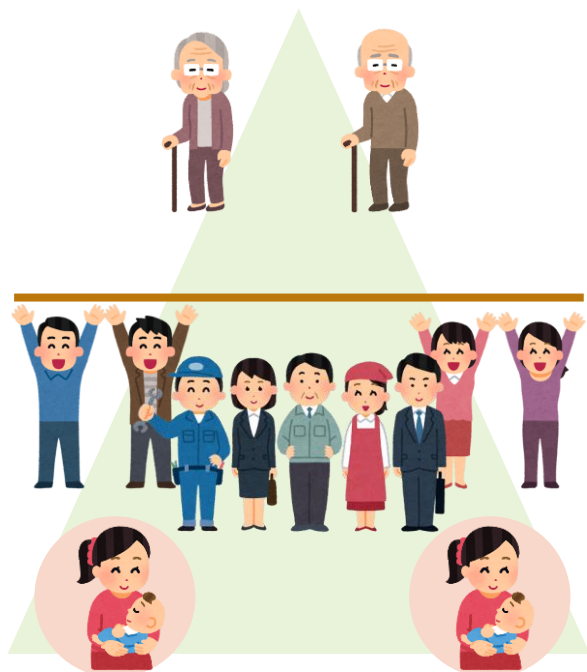
社会保障のパラダイムシフト



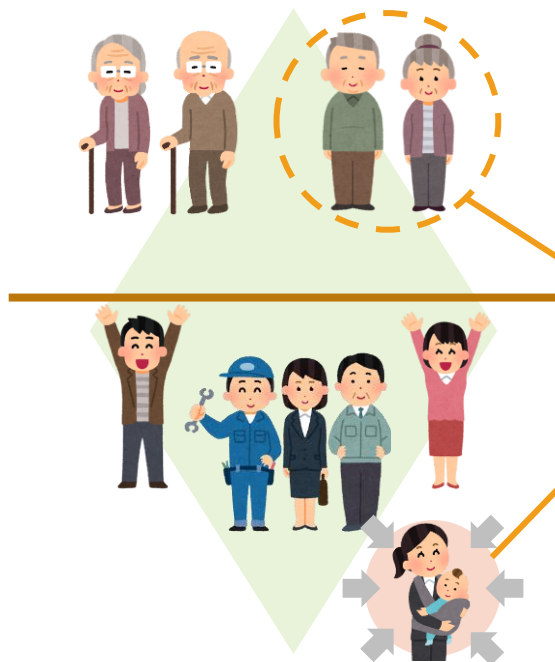
- 高齢者再雇用の促進
- 年金支給開始時期の延期
- **こども財源の大幅拡充**
- **育休(育業)取得促進、育休給付金引き上げ**
- **伴走型支援の拡充**
- **医療・保健DX連携**など

こどもまんなか社会を目指した構造改革イメージ

従来型社会保障の理念



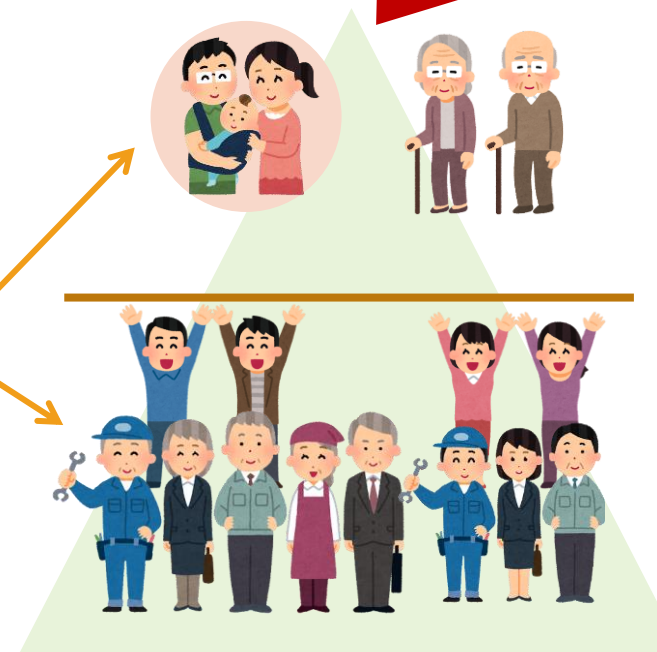
社会保障構造の現状



- 労働人口減少、高齢者人口増加による
 - 税収・社会保障担い手の減少
 - 年金支給額の減少
- **育児負担増による、少子化の進行**など

社会保障

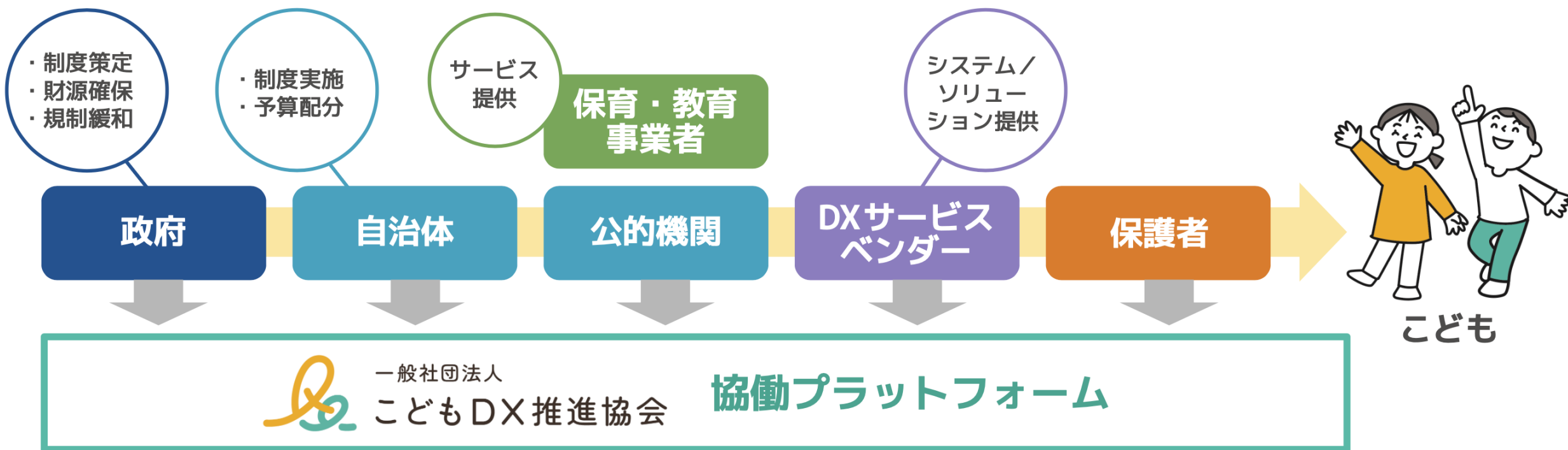
様々なサービス利用の
手間・負担をなくして！



- 高齢者再雇用の促進
- 年金支給開始時期の延期
- **こども財源の大幅拡充**
- **育休(育業)取得促進、育休給付金引き上げ**
- **伴走型支援の拡充**
- **医療・保健DX連携**など

こどもを支える協働プラットフォーム

「こどもまんなか社会」の実現を**実効性**を持って推進する上で
行政・自治体・公的機関・事業者がテクノロジーを介して連携しうる
「協働プラットフォーム」を確立



第1回こどもDXシンポジウム開催（3月20日：約500名の参加）

第1回 こどもDXシンポジウム
(兼 一般社団法人こどもDX推進協会設立総会)

テーマ
官民連携でこどもDXを推進するための論点・方向性

「こどもまんなか社会」を実現する上で、子どもを取り巻く環境のDX推進の必要性は益々高まっており、近年、伴走型支援DX・保育施設DX、行政こどもデータ連携などに関わるスタートアップ企業の参入が目立っております。本シンポジウムでは、こどもDXを推進する上で、官民が連携して進めるべき「標準仕様」「データ基盤」「ルールメイキング」といった切り口から課題や解決策を探っていきます。

こどもDXに関わる事業者や自治体、官公庁の管理は是非ともご参加ください。

※本日は、こどもDX推進協会の発足に向けた関係者間で、本シンポジウムの主催者でもある一般社団法人こどもDX推進協会の設立総会も実施いたします。

開催日時 2023年3月20日(月) 18:00~20:00 (開場17:30)

会場 ホテルニューオータニ東京 ザ・メイン edo ROOM
(東京都千代田区麹町4-1-1)オンライン(ZOOM)東方ハイブリッド開催

定員 300名(会場100名、オンライン200名)

参加費 無料

対象者 こども・子育てに関わる事業者/保育・教育業界関係者/自治体関係者/各府省庁関係者

ご登壇者

小倉 博徳 一般社団法人こどもDX推進協会 代表取締役
加藤 勝信 厚生労働大臣
河野 太郎 デジタル大臣

https://bit.ly/kodomodx_sympo2023
申込締切: 2023年3月10日(金)

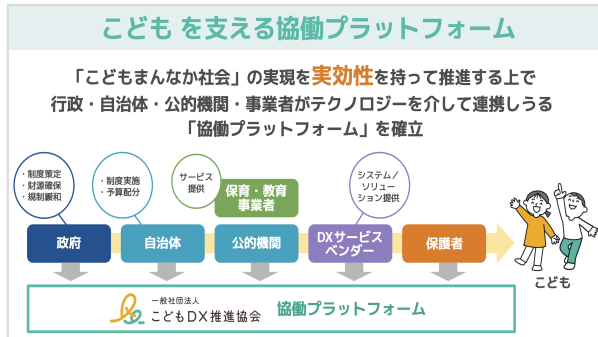
下記からお申し込みください

プログラム

【開会】一般社団法人こどもDX推進協会 設立総会

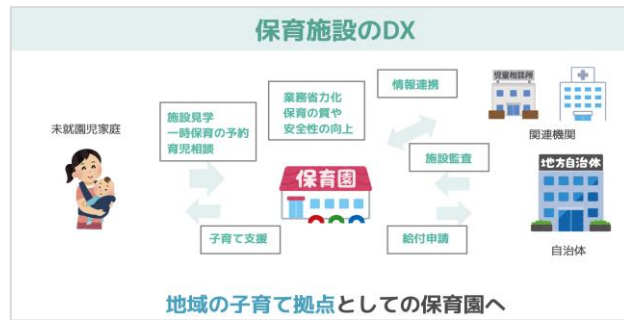
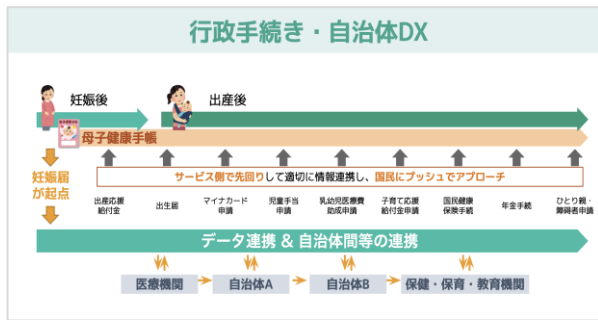
【基調】こどもDXシンポジウム
ご挨拶 加藤 勝信 厚生労働大臣
河野 太郎 デジタル大臣

【パネルディスカッション】
「こどもまんなか社会を目指して：本日に子育て支援につながるこどもDXとはなんだろう(仮)」
【モデレーター】橋中 洋亮 一般社団法人こどもDX推進協会 代表取締役
【パネリスト】小倉 博徳 一般社団法人こどもDX推進協会 代表取締役
中塚 敦子 デジタル庁 デジタルエグゼクティブ・ディレクター
佐々木 久美子 株式会社グループワークス 代表取締役



委員会の運営について

子育てDX委員会	施設DX委員会	行政DX委員会
<p>出産・子育てDXに関する調査研究・政策提言</p> <p>2023年度の論点(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政手続きのオンライン化 伴走型支援の推進 施設のオンライン予約 	<p>保育所・こども園等の施設のDXに関する調査研究・政策提言</p> <p>2023年度の論点(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導監査のDX 給付事務のDX 保育ICT・IoTの活用推進 	<p>行政手続きやデータ活用のDXに関する調査研究・政策提言</p> <p>2023年度の論点(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> こども・家庭に関するデータ連携 EBPMの推進



こどもDXに関わるITベンダーの増加

子育てDX	施設DX	行政DX



行政手続き・自治体DX

- 伴走型・プッシュ型支援実現のための情報管理
- 窓口手続きのワンスオンリー/オンライン化による効率化
- 教育・保健・福祉・医療分野など横断的に集約したデータ基盤
- 自治体毎に異なる行政・子育て支援システムの連携・統合検討

保育施設のDX

- 施設見学/一時保育のオンライン予約
- 現場の業務負担の軽減・ICTの活用や業務フローの見直し
- 監査や給付申請のDXによる効率化・自動化
- 自治体や児童相談所・医療機関など関連機関との情報連携

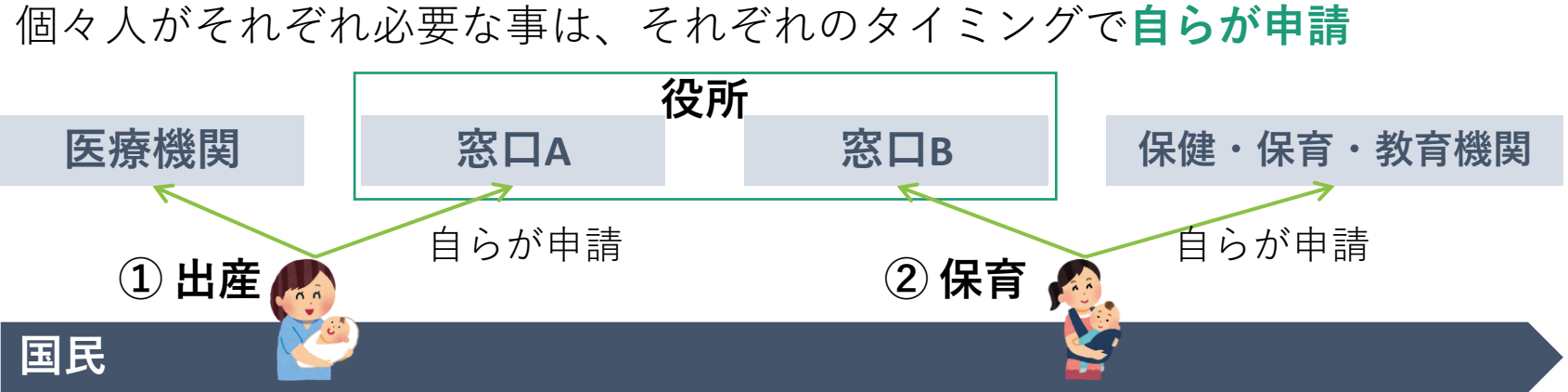
こどもDXに関わるITベンダーの増加

- 標準仕様や各種ガイドラインの策定
- ITベンダー同士が相互に連携できる基盤づくり
- DXサービスベンダーが持続的に成長するための環境整備

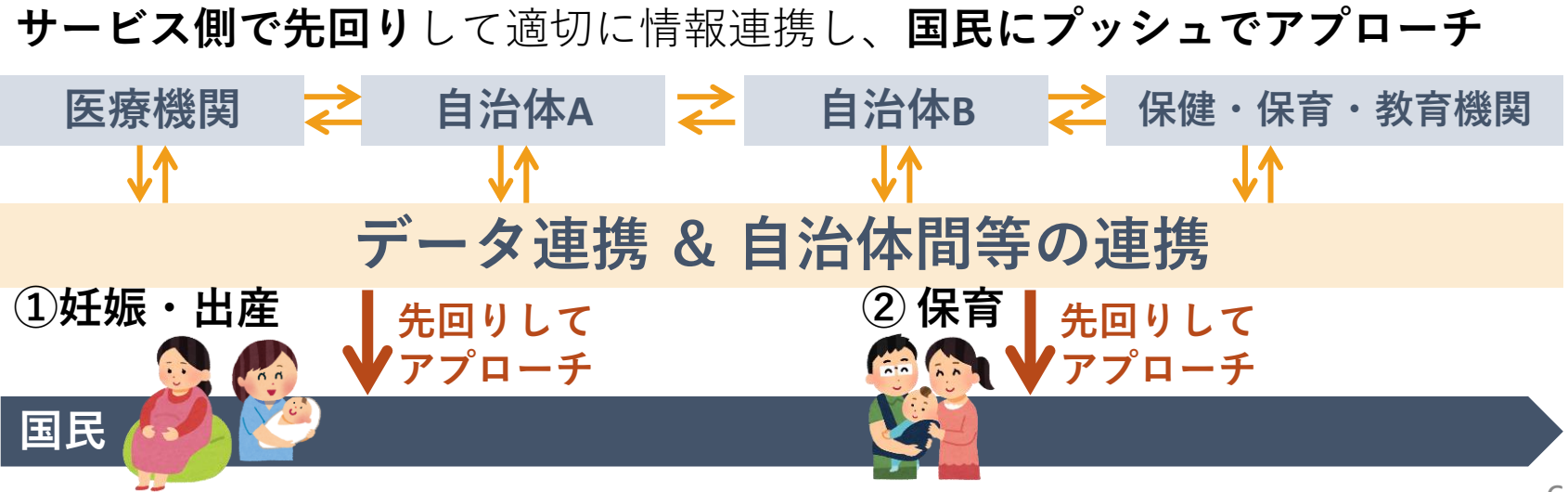
一般社団法人 こどもDX推進協会：https://kodomodx.or.jp

従来のプル型からプッシュ型サービスへの転換

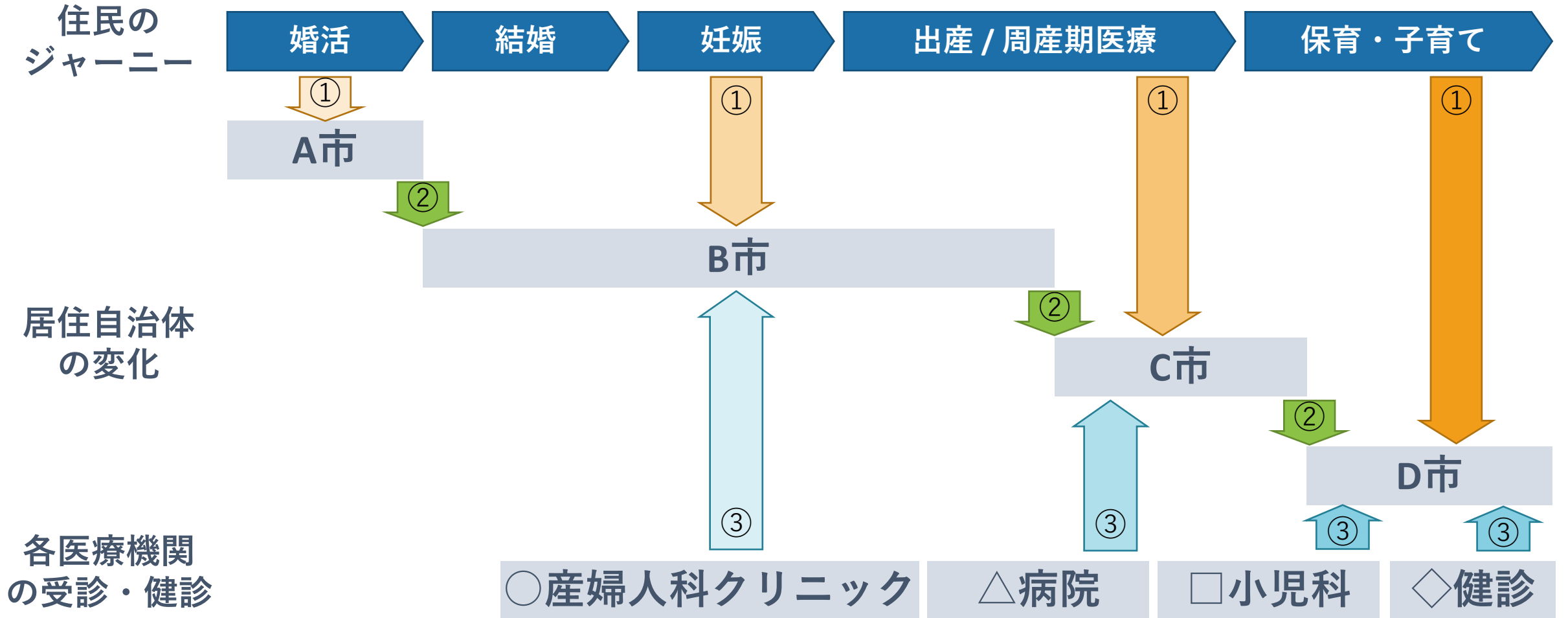
プル型
(申請・窓口主義)



プッシュ型
(DX・伴走主義)



住民の移動を前提としたデジタル化の構造



①住民と自治体の接点デジタル化
子育て支援アプリ/SNSなど

②自治体間等連携のデジタル化
自治体間等の個人情報連携

③健診・診療情報などの行政データ連携
全国医療情報プラットフォームとの連携

政府の事例：コロナ自宅療養者のプッシュ型支援サービス

新型コロナ対策における実績

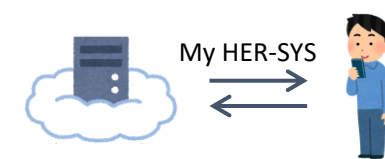
①住民と自治体の接点デジタル化

保健所から療養者へのプッシュでの連絡
(健康観察・安否確認)



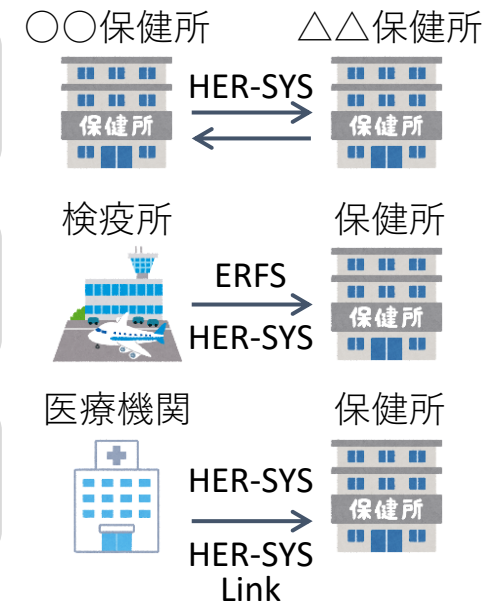
②自治体・行政連携のデジタル化

健康観察や療養証明書の療養者用
個別ポータル提供



③診療情報の行政連携

医療機関から保健所への
発生届のオンライン提出・
電子カルテデータと連携 (実証)



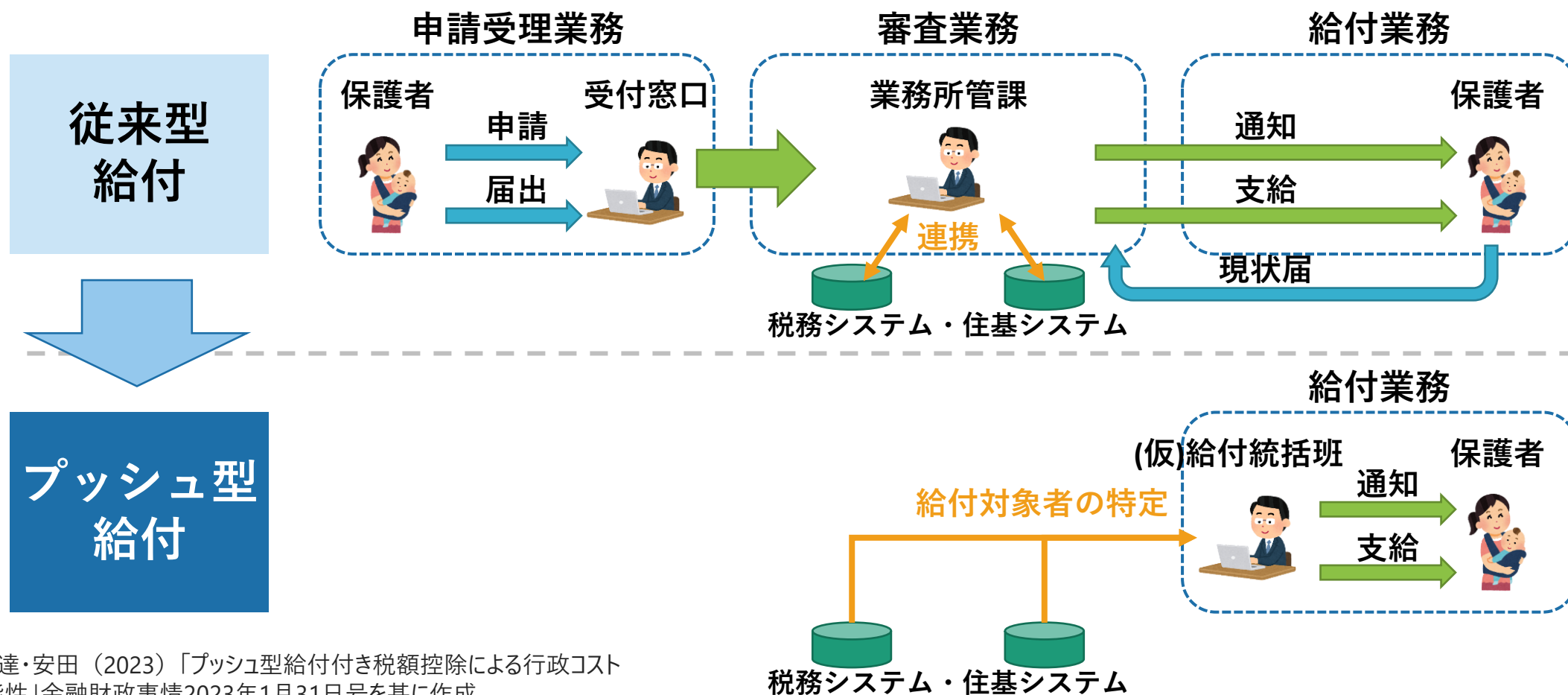
プッシュ型給付の財政的な効能

プッシュ型給付の導入により

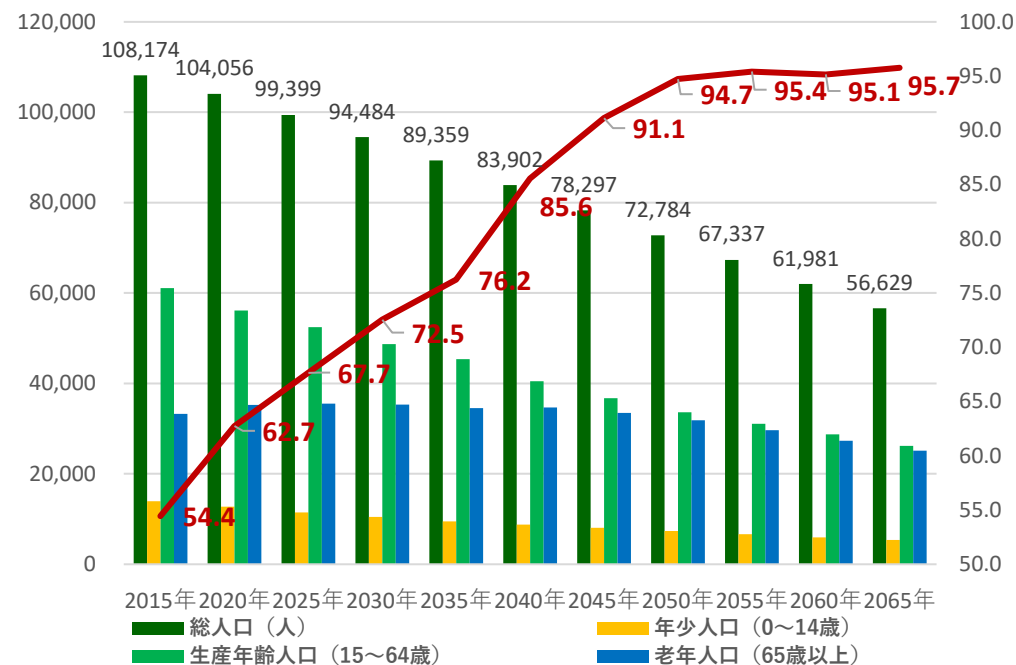
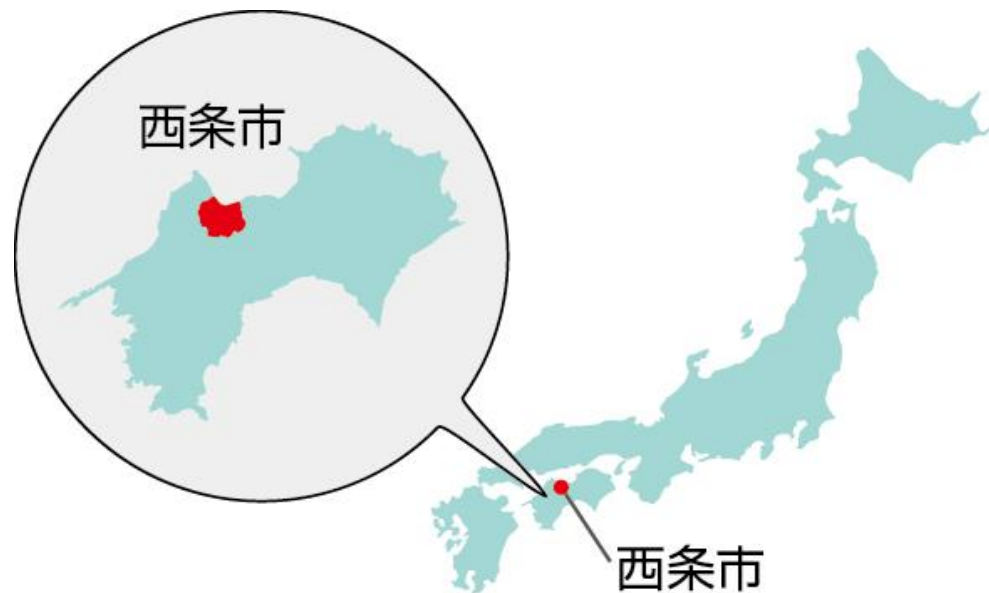
- ✓ 保護者にとって、申請・届出の負担や申請漏れが大幅削減
- ✓ 行政機関では、申請受理・審査業務コストが大幅削減

行政コストは
約22%の削減が
見込まれる

が見込まれる



愛媛県 西条市のこどもDX取り組み



あと20年でおおよそ 現役世代：高齢者 = 1：1 になる

まずは、スマホで子育て応援から

子育て情報 パーソナルポータル

(母子手帳・予防接種・健診・子育てカレンダーなど)



子育て 施設予約



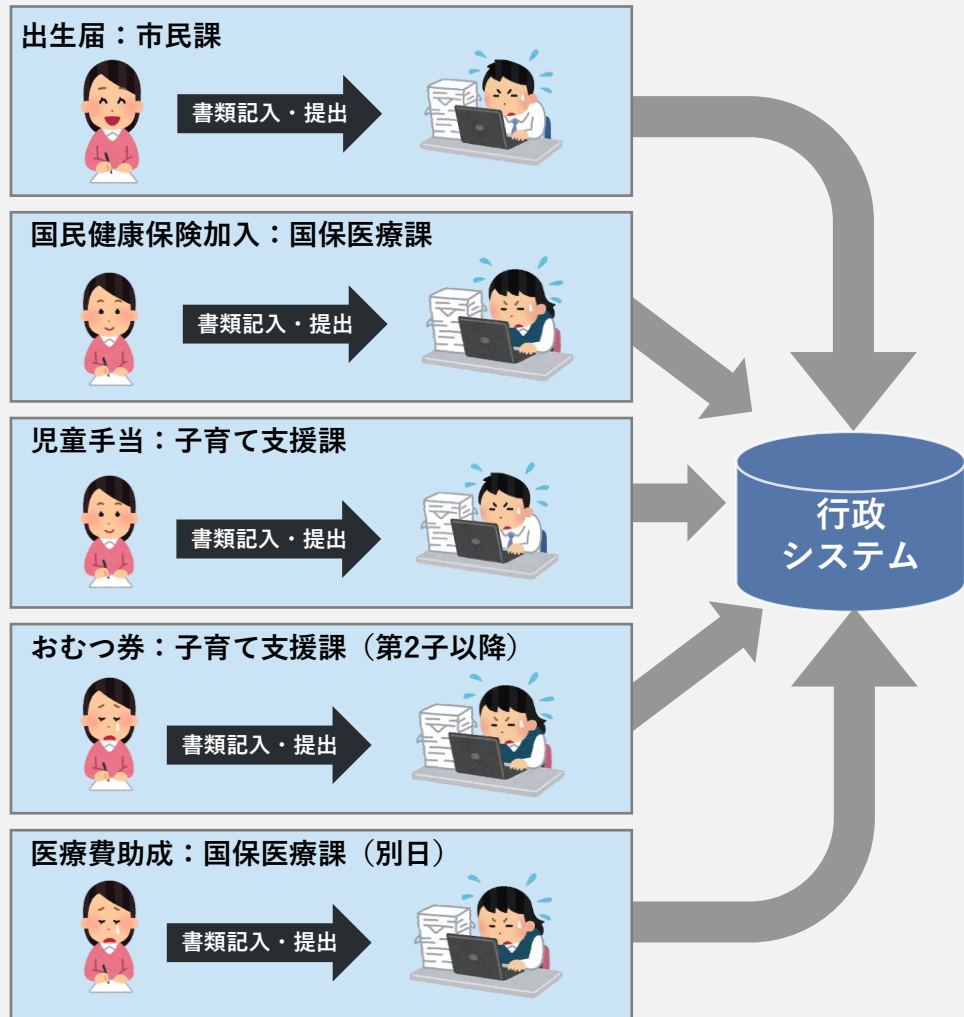
子育て 施設利用申請



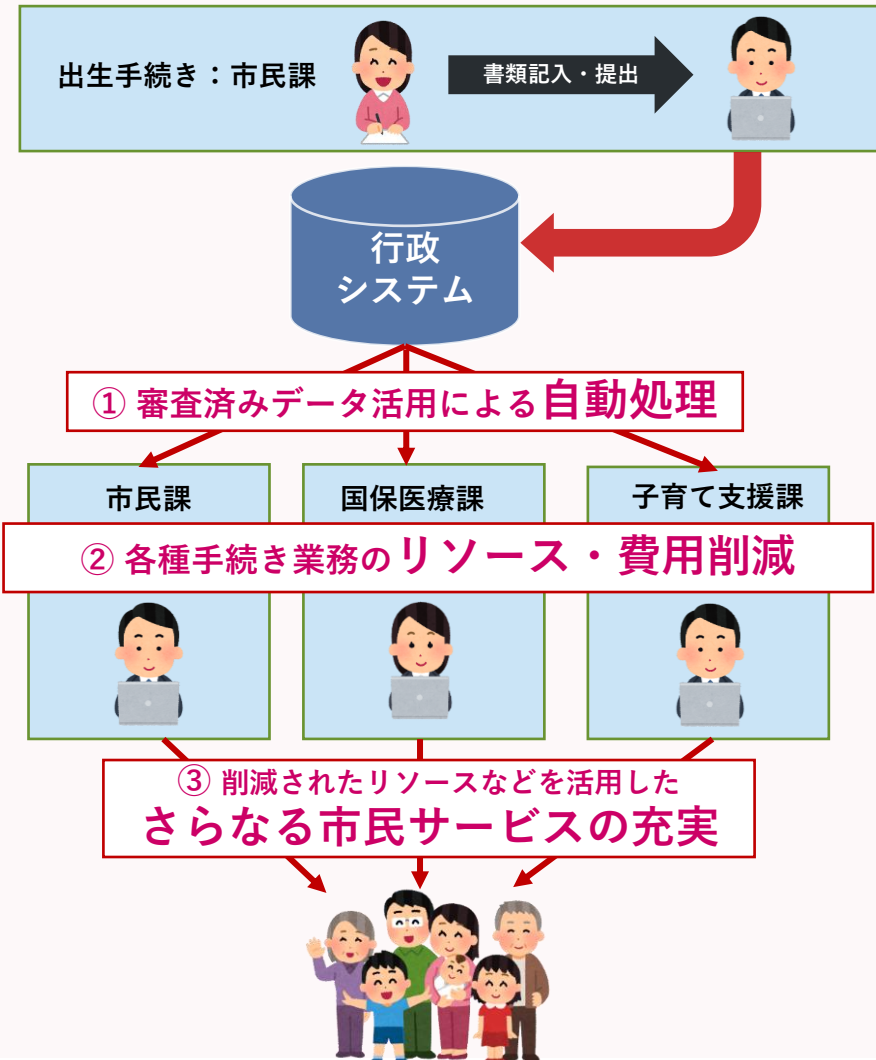
市民サービス提供からはじまり、施設の業務軽減へと追加拡充

こども行政DXは、まず「出生手続きDX」から

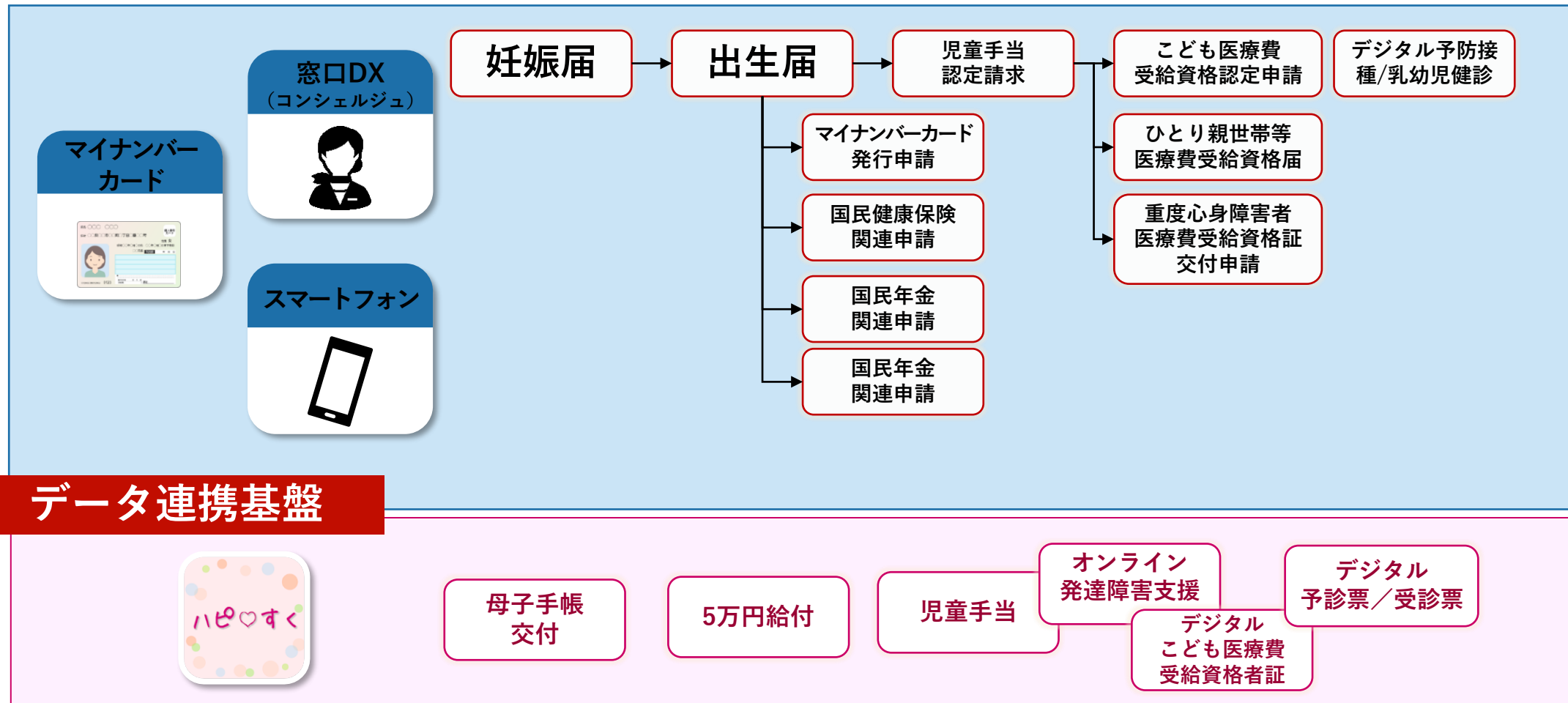
現状 手続きが多く、窓口もバラバラ



今後 出生手続きからワンスオンリー

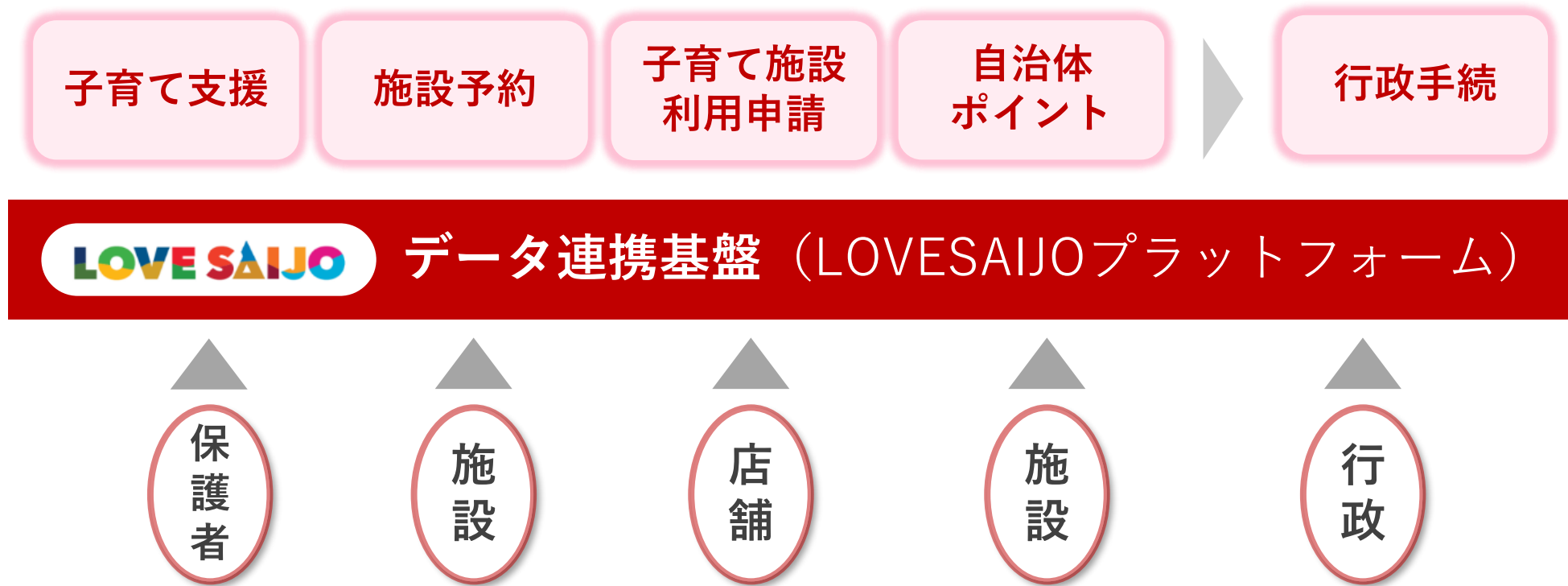


業務スリム化とデータ連携で、子育て応援充実へ



手続きデータを子育てアプリと連携し、伴走型支援を加速

さらに、自治体ポイントで地域とつなげる



西条市全体で「自治体専用のデータ連携基盤」を構築
「自治体ポイント」を導入して地域による子育てサービスへと拡張

さらに、自治体ポイントで地域とつなげる



西条市全体で「自治体専用のデータ連携基盤」を構築
「自治体ポイント」を導入して地域による子育てサービスへと拡張

プッシュ型サービスへの転換に向けた3ステップ

1 窓口ワンスオンリー・・・1回の窓口申請で全て完結

2 オンライン申請・・・申請はオンラインで全て完結

3 先回り手続・・・行政側が自動で手続を実施、支援

プッシュ型
(DX・伴走主義)

サービス側で先回りして適切に情報連携し、国民にプッシュでアプローチ



プッシュ型サービスへの転換に向けた3ステップ

「書かない窓口」の
全国展開と連携して
徹底実現！

1 窓口ワンスオンリー・・・1回の窓口申請で全て完結

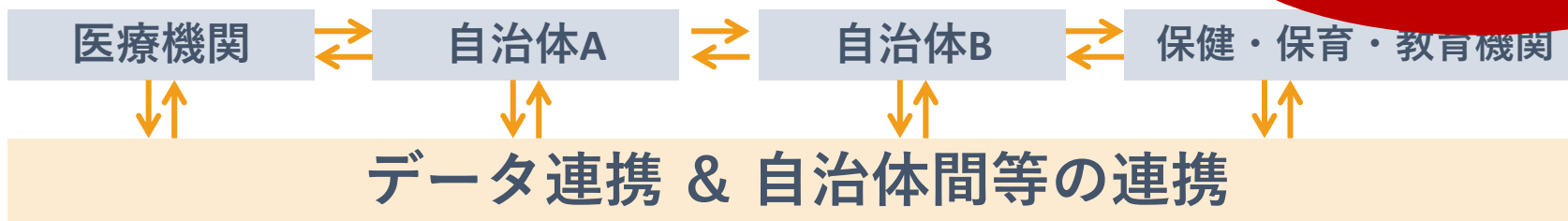
R5年度内に
出生届の事例化を実現

2 オンライン申請・・・申請はオンラインで全て完結

3 先回り手続・・・行政側が自動で手続を実施、支援

R5年度内に
給付事例化を実現

サービス側で先回りして適切に情報連携し、国民にプッシュ



① 妊娠・出産

↓ 先回りして
アプローチ

② 保育

↓ 先回りして
アプローチ

国民



プッシュ型
(DX・伴走主義)

令和5年度のマイルストーン（案）

プッシュ型の伴走型支援

①住民と自治体の接点デジタル化
子育て支援アプリ/SNSなど

②自治体間等の連携デジタル化
自治体間の個人情報連携

③健診・診療情報などの行政データ連携
全国医療情報プラットフォームとの連携

短期的なマイルストーン（R5年度～）

- 出生手続DX
 1. R5年度内に出生届手続ワンスオンリー化を60%にする
 - R6年度内に自治体出生届手続ワンスオンリー化を100%にする
 2. R5年度内に出生届手続オンライン化事例をつくる
 - R6年度内に自治体の出生届手続オンライン化を100%にする
- 相談窓口DX
 1. R5年度内に相談窓口のオンライン化を100%にする
- 子育て給付DX
 1. R5年度内に給付申請レスでの給付事例をつくる
 2. R5年度内にクーポン型給付を20%にする
 1. R6年度内にクーポン型給付を80%にする
- プッシュ型の伴走型支援で大幅に増える業務に必要な自治体間等の連携業務DXについて調査事業を立ち上げる
- 母子保健や学校保健のあり方を政府整備予定の医療DX基盤である情報プラットフォーム基盤との連携仕様・法令について省庁横断の検討会を立ち上げる